

～家族で取り組む柑橘栽培～
渡部 正義さん（今治市）

中下農園 代表 1970年生まれ



☆経営概況☆

経営面積 209 a で、果樹栽培に取り組んでいます。

栽培品目は、温州みかん（早生、中生）103 a、伊予柑 30 a、愛媛果試第 28 号 36 a、甘平 40 a。

労働力は、本人、妻、両親の 4 人。繁忙期には、JA おちいまばり営農支援グループ心耕隊に収穫作業を手伝ってもらっています。

☆ここがポイント☆

農業大学校卒業後 10 年間は会社員として勤めましたが、農家の長男として跡を継ごうと、結婚を機に就農しました。

就農した当初は、温州みかんとキウイフルーツ主体の経営でしたが、経営安定や労働力分散などを考えて、施設栽培や愛媛県オリジナル品種の愛媛果試第 28 号や甘平などの中晩柑類へ切り替えました。

自分自身の管理方法の結果を把握するため、園内を区分して家族それぞれで管理を行っています。それぞれが自分の技術を競い合い、結果的にはそれが刺激になって園全体で高品質果実の生産につながっています。

販売は JA の共販に任せることで、生産者として温州みかんはマルチ栽培、愛媛果試第 28 号や甘平の施設栽培など高品質果実の生産に専念できています。

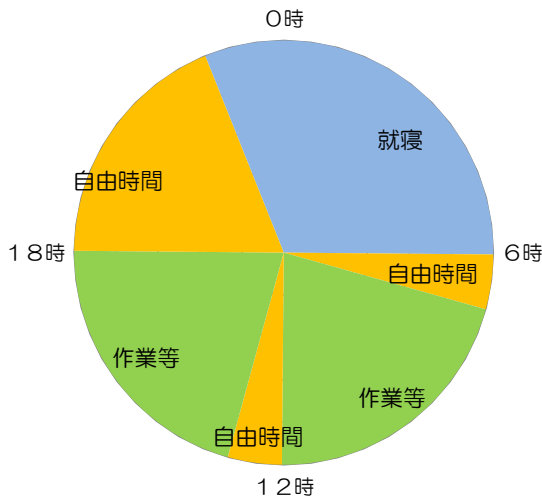
愛媛果試第 28 号のハウス団地で生産する 6 戸の農家で設立した「松尾坊ちゃん倶楽部」のメンバーとして、マルドリ栽培の新しい技術にも取り組んで、儲かる農業の実現で地域の活性化につなげようと活動を始めたところで、メンバー間で切磋琢磨して栽培技術の向上に努めています。



愛媛果試第 28 号の収穫



【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

農作業の時間は、基本的に園地にいる時間を7時から17時までとしています。その間ずっと作業をしているのではなく、近隣の生産者の園地を見に行き、栽培管理の技術向上にも時間を使ったりしています。

帰宅してからは、なるべく多くの時間を3人の子供と接するよう心掛けています。

収穫時期の忙しい時期を除いては原則日曜日を休日と決めて、家族で過ごす時間を取るようにしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------|--------------------------|---|---|---|---|--------|
| 【繁忙期】 | 休日は不定期（天候等により作業が少ない時が休日） | | | | | |
| ← 作業 → | | | | | | |
| 【普通期】 | ← 作業 → | | | | | → 休日 → |



「松尾坊ちゃん倶楽部」 愛媛果試第28号のハウス団地



家族で収穫

☆これからの夢や目指すもの☆

経営の安定化を図るため、天候に左右され難い施設を増やしたいと思っています。

家族がお互いに干渉しすぎないように、また、尊重しあい、協力して農業を継続していくこと、また、子供も農業をやりたいと言ってくれているので、魅力ある経営を引き継ぎたいと考えています。

ブランド製品の愛媛果試第28号や甘平の栽培に取組み、儲かる農業を自分たちが実践することで若い人に農業の魅力を伝えていきたいと思ひます。

☆メッセージ☆

農業は、自分で計画して自身が働いて努力した結果が、そのまま見えるので会社員と違ってやりがいのある職業だと思います。今は経営の柱となる愛媛オリジナル品種があるので、少しでも農業に魅力を感じたら、就農してはどうかと思ひます。やる気のある人は、地域のみんなが応援します。